

# 子どもの居場所作りは

## 支援団体関係者ら 聴講や討論

子育て会  
子流  
中  
備交

子育て支援に取り組む団体の関係者らが学びを深め合う「備中子育て晴れの国交流会」が18日、倉敷市羽島の同県民局であり、参加者が講演の聴講やグル



各団体の取り組みや課題について意見交換を行う参加者ら

ープワークで活動のヒントを得た。

倉敷、総社、笠岡、高梁市などから行政や子育て支援に取り組むグループなどから49人が参加した。子どもの

貧困問題に取り組む川崎医療福祉大の直島克樹講師が「これからの子どもの居場所を考える」と題して講演。子どもが個性を發揮しながら住民と交流できる場の重要性を訴

え、「子どもの長所を引き出すことができる地域にしよう」と話した。

その後、参加者は7グループに分かれて意見交換。各地域の取り組みや現状の問題点などを具体的に挙げながら、課題解決に向けた方策について考えを述べ合った。

あまき子育て支援センター（倉敷市藤戸町天城）の松浦ゆうこさん（44）は「子どもと大人双方に役割を持たせることなど、今後の参考になった」と話した。

（山本真慈）